

2. 現況および課題の把握

f. 避難所等

【避難所】

家屋の倒壊や焼失等により生活が困難となった場合に一時的に避難生活を送る場所である。

品川区地域防災計画では、想定避難所生活者数119,932人に対し、区全体の避難所の収容人員を120,000人と計画している⁴⁵。また、一般の避難者との避難生活を送ることが困難な寝たきりの高齢者や障害者等を保護するための施設として、二次避難所や福祉避難所を指定している。

なお、避難所は原則区民の利用を想定しており、帰宅困難者の利用は想定されていない。

図表 65 大崎駅周辺地域の避難所⁴⁶、二次避難所⁴⁷

避難所名	所在地	構造	収容人員	主な補完避難所
日野学園	東五反田2丁目11-1	鉄筋	3,407人	清泉女子大
芳水小学校	大崎3丁目12-22	鉄筋	987人	立正大学
大崎中学校	西品川3丁目10-6	鉄筋	965人	立正大学
三木小学校	西品川3丁目16-28	鉄筋	1,441人	立正大学
御殿山小学校	北品川5丁目2-6	鉄筋	671人	総合体育館
(二次) 五反田シルバーセンター	東五反田2丁目15-6	鉄筋	44人	—
(二次) 西五反田シルバーセンター	西五反田3丁目9-10	鉄筋	96人	—
(二次) 大崎シルバーセンター	大崎2丁目7-13	鉄骨	83人	—

【医療施設】

災害時における医療救護活動の拠点となる医療機関を災害拠点病院という。区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

大崎駅周辺地域では、東五反田5丁目のNTT東日本関東病院が、災害拠点病院に位置付けられている。品川区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

図表 66 災害拠点病院（平成24年4月1日現在）⁴⁸

位置づけ	施設名	所在地	病床数
災害拠点病院	昭和大学病院	旗の台1丁目5-8	853床
災害拠点病院	NTT東日本関東病院	東五反田5丁目9-22	665床

その他、大崎駅周辺地域に立地する医療機関で、東京都防災マップに記載されているものは、以下のとおりである。

図表 67 大崎駅周辺地域のその他医療機関⁴⁹

位置づけ	施設名	所在地	病床数
—	医療法人社団有仁会 阿部病院	品川区東五反田1丁目6-8	84床
—	大崎病院 東京ハートセンター	品川区北品川5丁目4-12	100床

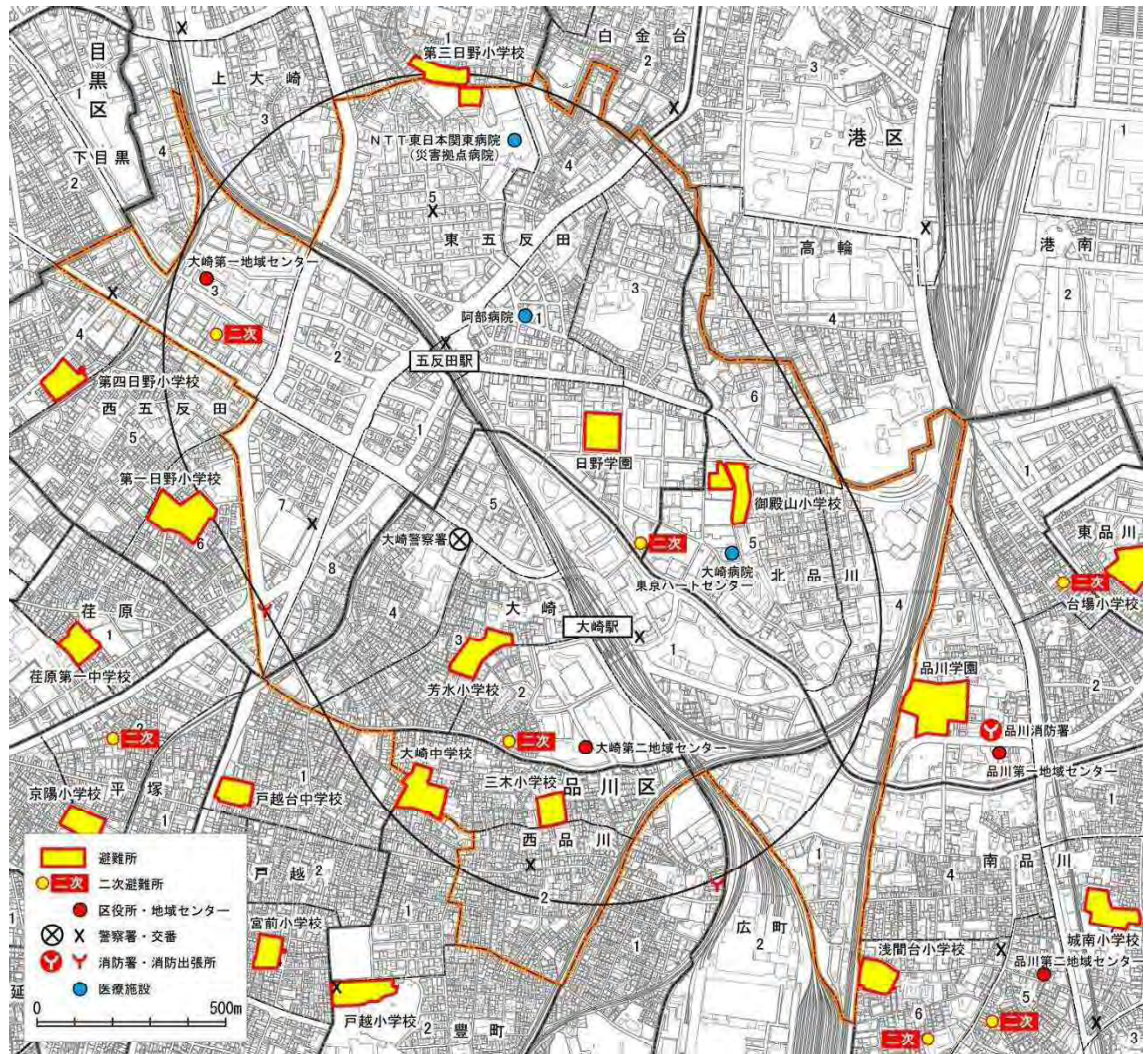
各地域センター管轄区域内の避難所（区立小中学校）のうち1ヶ所を医療救護所として指定しており、大崎駅周辺地域では、大崎第二地区に立地する三木小学校が該当する。

図表 68 医療救護所一覧⁵⁰

管轄区域	施設名	所在地
品川第一地区	品川学園	品川区北品川3丁目9-30
品川第二地区	城南小学校	品川区南品川2丁目8-21
大崎第一地区	第一日野小学校	品川区西五反田6丁目5-32
大崎第二地区	三木小学校	品川区西品川3丁目16-28

2. 現況および課題の把握

図表 69 避難所、医療施設等¹



【津波避難施設】

津波避難施設とは、気象庁から東京湾内湾に「津波警報」「大津波警報」が発表された場合、その警報が解除されるまでの間、地域住民等が一時もしくは緊急避難する建物のことである。

大崎駅周辺地域における津波避難施設は、日野学園が該当する。

図表 70 津波避難施設（区有施設）一覧（平成27年3月現在）⁵¹

施設名	所在地	条件
日野学園	東五反田2丁目11-1	
品川図書館	北品川2丁目32-3	開館時間内
北品川児童センター	北品川2丁目7-21	開館時間内
品川学園	北品川3丁目9-30	
品川健康センター	北品川3丁目11-22	開館時間内
北品川職員待機寮	北品川3丁目11-17	
台場小学校	東品川1丁目8-30	
城南小学校	南品川2丁目8-21	

区と津波避難施設協定を締結している民間施設は、以下のとおりである。

図表 71 津波避難施設（民間施設）一覧（平成27年3月現在）⁵¹

施設名	所在地	一時待機場所	条件
沖ウインタック(株)	北品川1丁目19-4	6階 会議室	日・祝を除く、平日9時～17時
ニックハイム北品川	北品川1丁目22-17	3～6階 開放廊下	
六行会総合ビル	北品川2丁目32-3	8階 荏川倶楽部ラウンジ	業務時間内(品川図書館の補完施設として)

